

学年始めに教師が心がけたい見方・考え方

2021. 4. 5

授業力向上担当

今年度、授業力向上担当として、自分に取り組んできたこと、校内の先生方の素敵な取組、書籍で紹介されている取組など、定期的に伝えていきたいと思います。今後、先生方の授業の参観をお願いしに行くと思いますので、快く受け入れていただくと嬉しいです。

今回は、授業開き・学年開きについてお伝えします。

始業式・入学式は、待ちに待った新年度のスタートで、子どもたちは、大変楽しみにしていると思います。緊張をしている子どももたくさんいると思います。私が学年始めに心がけている見方・考え方は大きく分けて2つです。

1 気を付けていること

(1) みんなが安心・楽しいと感じられるような教師の言葉がけ、取組

初めての担任、あまり仲の良い子と同じクラスになれなかったなど、緊張している子どもたちはたくさんいます。まずは、安心して過ごせる雰囲気を作るよう心がけています。

(2) 自分の指導観を伝える

新学期がスタートして気持ちを新たに頑張ろうと思っている児童はたくさんいます。そのやる気十分なタイミングで、担任・学年集団の指導観を伝えていってください。最初から伝えていくことが、負のサイクルを生まないポイントと考えています。

2 具体的な教師の言動

(1) 「みんなが安心・楽しいと感じられるような教師の言葉がけ、取組」の具体例

① 子どもの名前を呼ぶ ～「〇〇さん、おはよう！」～

新しく関係を築いていくクラスで、自分の名前を呼ばれるというのは、「自分に興味を持って

らっている」「受け入れてもらえそう」と思える一つのポイントだと思います。私も旭が丘小に赴任して、名前を呼ばれると嬉しく思いました。最初は、子どもの名前を呼び間違えるかもしれませんが、どんどん名前を呼んでいくことを大切にしています。

② 笑顔

人間の第一印象は、視覚から入ってくる情報に大きく左右されます。ただでさえマスクで表情が見にくいので、笑顔（やわらかい表情）でいることが大切だと思います。

仕事が忙しく、慌ただしくても、子どもの前では、芸者になって、笑顔を！！

③ 質問してくれたら、質問し返す

学級開きなどで、教師の自己紹介をするときに気を付けていることです。私は、子どもたちが質問をしてくれたら、その子にも同じように質問を返しています。言葉のキャッチボールをすることが信頼関係を作る第1歩だと考えているからです。

s 「先生はどんな食べ物が好きですか。」

t 「お菓子が好きです。特にポテチのコンソメが大好きです。」

「〇〇さんは、どんな食べ物が好きなのかな？」

④ クラス全員が協力するからこそ達成できるゲーム

クラス開きでゲームをする時は、「協力」をポイントにするゲームを考えています。「みんなでするから楽しいんだ。嬉しいんだ。」と感じてほしいからです。

(例) 一人ずつ手を叩いていき、全員がリレーみたいにして叩き終わるのに何秒かかるかに

挑戦するゲーム。(子どもたちにタイムの目標を決めさせるとよい。だいたい目標を20秒ぐらいから始めると、良い感じでタイムを更新できて、充実感を感じられる。)

(2) 「自分の指導観を伝える」の具体例

① 期待したい姿が見られたら、肯定的な言葉がけをし、クラス全体にも紹介する

「自分から挨拶ができる子どもに育ててほしい」

「自分だけでなく、みんなのために行動できる子どもに育ててほしい」

など、成長してほしい子どもの姿があります。私は、その姿を**探す**ようにしています。**意識して見つ**

けようとしています。「〇〇さんが、自分から挨拶してくれて、先生はすごくうれしい気持ちになった

よ。」と教師の思いを本人にも、クラス全体にも伝えるようにしています。できるだけ、たくさんの観

点を見つけようとする、たくさんの子どもに肯定的な声かけができると思っています。

例：休みの子の席に配られたプリントを整理していた

床に落ちていたゴミを拾って捨てていた

授業中、「〇〇さんと同じ意見で、私も……」 等

☆「がんばっ 10」「掃除のさしすせそ」も重要な観点

② 改善しようとしたかを見守る

・先生に注意されて、それを直そうと思い行動に移したことを、注意した先生が見てくれなかった

り、見てくれても「〇年だからできて当然」「みんなできているのだからできて当然」という態度を

とったら、子どもはがっかりすると思います。この積み重ねで、私から心が離れていったこともあり

ました。逆に、「よくがんばったね。すごいね。」と笑顔で言えたら、子どもは「見てくれているんだ。」と多くの子は嬉しく思います。注意後の見守りを意識しています。

たくさんのご紹介でしたが、御自身の指導観と共感するところがあったら、参考にしてみてください。

以下の「授業力 UP10」は市の小中学校全体の取組、「がんばっ 10」「掃除のさしすせそ」は旭が丘小学校の取組です。※切り取って週案などに張ってください

授業力 UP10

	観点	項目
1	教材研究	子どもの姿を具体的に思い描いた教材研究
2	板書	1時間の流れがわかる板書計画
3	導入	授業のスタートは笑顔
4	めあて	子どもの思考・疑問に沿った目当ての提示
5	発問	子どもに明確な発問や指示
6	学習形態	多様な学習形態の工夫による思考の機会と学習意欲の向上
7	視覚支援	教具（教師用・子ども用）による視覚支援
8	振り返り	めあてに対して考える振り返り活動
9	視点児童	支援が必要な子どもが理解できる手立て
10	校内共通取組	校内研修等で確認した共通取組の実行

※昨年度の取り組み

がんばっ 10

	項目
1	チャイムが鳴ったら席に着く
2	開始・終了のあいさつははっきりした声で気持ちよく行う
3	正しい姿勢で椅子に座る
4	指名されたら「はい」と返事をし、起立して答える（椅子は入れない）

5	授業者や発表者の顔を見て反応する
6	「声のものさし」を意識して発表する
7	「聴く・話す・書く・考える」のけじめをはっきりとする
8	鉛筆は5本程度用意しておき、いつも削っておく
9	ノートに書くときは下敷きを使う
10	筆算の時は定規を使って線を引く

掃除のさしすせそ

さ	最後まで → 終了3分前の片付けの放送まで 片付けもしっかりと
し	しゃべらず → 余計なおしゃべりをせず静かに
す	すみずみまで → ごみをしっかり見て隅々まで
せ	せつせと → 自分のためにみんなのためにきれいにするという気持ちで
そ	掃除しよう